

本年度の結果

	算数
阿蘇市	65
全国	66.6

領域別	数と計算	量と測定	図形	数量関係
阿蘇市	62.2	51.8	73.1	68.3
全国	63.2	52.9	76.7	68.3

観点別	数学的な見方考え方	数量や図形の技能	数量や図形の知識理解
阿蘇市	61.2	72.0	68.8
全国	62.2	73.6	70.1

本年度の主な結果について

○グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること、伴って変わる二つの数量を見いだすことができること、単位量当たりの大きさについて知ることなどは、改善が見られた。
 ●計算に関して成り立つ性質を見だし、表現すること、図形の性質や構成要素に着目して、基本的な平面図形を考察すること、既習事項を活用して根拠となる事柄を言葉や式、図を用いての記述等、活用する力や数学的な考え方に課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる(2(1))
- 示された除法の式の意味を理解している(3(4))
- 場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる(4(3))

【課題】

数と計算

- 示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる(3(1))
- 除法に関して成り立つ性質を記述できる(3(2))

量と測定

- 示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる(1(3))
- 資料の特徴や傾向と関係付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる(2(3))

図形

- 台形について理解している(1(1))
- 図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる(1(2))

数量関係

- 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる(2(4))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「算数の勉強は好き」と回答した割合は年々増加傾向にある。
- 算数の記述式の問題を最後まで解答を書こうと努力した児童は年々増えている。

【課題】

- 「算数の授業の内容がよく分かりますか」は、年々増えているが、全国よりも低い。
- 問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えている。
- 公式やきまりを習うとき、そのわけを理解している。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りや適用問題を行う。
- 数量や図形についての概念等を数学的活動や生活場面と関連させながら理解させる。
- 言葉や式、図、表、グラフなどの数学的表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする学び合いの充実を図る。
- 考えを交流する場面では、数学的な見方・考え方を働かせながら数学的に考える資質・能力を育成する。

【日常的な取組】

- 児童主体の授業づくりを目指し、数学的活動を通じた活動や効果的なICTの活用を図る。
- 基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導時間を日課表に位置づけて個に応じた指導の充実を図る。

【家庭学習等】

- 自学学習の充実を進めるとともに、家庭と連携して生活習慣や家庭学習の習慣化を図る。